

I 調査結果の概要

1. まちづくりの現状評価

- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高く、「総合的な人口減少対策の推進」の評価が最も低い
- 現状評価は 33 項目中 17 項目が前回から向上、15 項目が低下
- 加重平均値では 33 項目中 7 項目が前回から向上、25 項目が低下し、「総合的な人口減少対策の推進」のみマイナス値
- 政策分野別（加重平均値）では「保健・医療・福祉」が最も高く、「行財政改革・市民参画」が最も低い

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

- 「総合的な人口減少対策の推進」「子育て環境の充実」の 2 項目が高い
- 要望は 33 項目中 17 項目が前回から向上、16 項目が低下
- 政策分野別では、過去 2 回と同様に「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低い

3. 市民サービスの評価

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高く、「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い
- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」「市役所の窓口は利用しやすい」の上位 2 項目は評価が高くなる傾向

4. デジタル化が進んでほしい市民サービス【新規設問】

- 「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が約 5 割で最も高く、次いで「マイナンバーカードによる行政手続きの簡素化」「行政窓口の円滑化」「若い世代に向けた移住定住につながる情報発信」の 3 項目がそれぞれ約 4 割

5. 市政への関心

- 合計値『関心がある』が約 7 割で高いが、関心度は低下傾向
- 属性別では 10・20 歳代の関心度が特に低い

6. 市政情報の入手方法

- 「市報みなみ魚沼」が 8 割以上で特に高いが、若干低下傾向
- 次いで「市公式ウェブサイト」が約 3 割で、向上傾向

7. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか

- 「いつも読んでいる」が6割以上、次いで「ときどき読んでいる」が3割以上、合計値『読んでいる』は9割以上で、過去2回の調査と同様の傾向

8. 「市報みなみ魚沼」について

- 読んでいる媒体は、「紙の冊子」が9割以上【新規設問】
- 読みやすさは、「読みやすい」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が4割以上
- 必要な情報量は、「得ることができる」が6割以上、次いで「どちらともいえない」が3割以上
- 情報量は、「ちょうどよい」が8割以上、次いで「多い」「少ない」がいずれも約1割
- 総合的な満足度は、「やや満足している」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上。合計値『満足』は約7割で前回と同程度

9. 地域づくり協議会の認知度

- 「あまり知らない」が3割以上、次いで「知っている（事業に参加したことはない）」「全く知らない」がいずれも2割以上で前回と同様の傾向
- 認知度は若い年代ほど低く、居住年数20年未満も低い

10. 地域づくり活動への関心度

- 「少しは関心がある」が約5割、次いで「あまり関心がない」が3割以上、合計値『関心がある』は6割以上で、前回より若干低い

11. 住むようになった理由・きっかけ

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割で前回と同様の傾向
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～10年未満は「結婚・独立」が最も高い

12. 暮らしやすいか

- 「どちらかといえば暮らしやすい」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上、合計値『暮らしやすい』は5割以上で前回と同程度

13. 暮らしにくさや不安

- 「医療・介護」「少子高齢化」の2項目がそれぞれ約2割で比較的高い
- 「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は高くなる傾向

14. 働く環境としての魅力・理由

- 「魅力を感じない」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が約4割
- 「魅力を感じる」は約1割で低いが、高くなる傾向

- 「魅力を感じる」理由は、「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」「雇用の場が多い」の3項目がそれぞれ約2割で比較的高く、前回と同様の傾向
- 「魅力を感じない」理由は、「給与水準が低い」が4割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上で前回と同様の傾向

15. 将来も住み続けたいか・理由

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割で前回と同様の傾向
- 居住年数3年未満は「どちらともいえない」、3年以上5年未満は「将来は市外に移りたい」が最も高い
- 「住み続けたい」理由は、「住み慣れて愛着がある」が約6割、次いで「自然環境がよい」が約2割で過去2回と同様の傾向
- 「将来は市外に移りたい」理由は、「自然環境が厳しい」が3割以上、次いで「医療機関や福祉が不足している」が約2割で、「自然環境が厳しい」は過去2回でも最も高いが、低下傾向

16. 現在の婚姻状況【新規設問】

- 「現在、結婚している」が6割以上、次いで「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」が3割以上

17. 結婚への意向【新規設問】

- 「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」が約6割、次いで「結婚するつもりはない」「結婚したい」がそれぞれ約2割、合計値『結婚したい・考えたい』は7割以上

18. 結婚を考えたとき気になること【新規設問】

- 「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が4割以上、次いで「お金を自由に使えるか」が約4割
- 男性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「お金を自由に使えるか」の3項目がそれぞれ3割以上で同程度に高く、女性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が5割以上で最も高い

19. 理想的な子ども数【新規設問】

- 「2人」「3人」がそれぞれ4割以上で同程度に高い

20. 理想的な子ども数の実現への妨げ【新規設問】

- 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が7割以上、次いで「自分の仕事への影響」が4割以上

21. 南魚沼市の魅力や誇り（自由記述）

- 「自然（環境）」「四季」「雪」「水」「米（コシヒカリ）」「酒」「人」などが比較的多い